

災害名 [市区町村記入欄]

令和6年能登半島地震

記入例

被災者生活再建支援金支給申請書

申請期限

基礎支援金 令和8年1月31日

加算支援金 令和9年1月31日

【同意事項】罹災証明書の被害程度が変更された場合、既に出されていた支給決定が取消又は変更されることがあります。

初めて申請する場合は「初回」に○、
2回目以降の申請は「2回目以降」に○をし、支給通知書に記載の
支給番号を記入してください。(不明な場合は記載不要)

申請日 令和6年9月1日

給を申請します。

世帯主または世帯主に準ずる人

申請者氏名 山田 花子

申請回数 [支給番号]

初回

2回目
以降

12-345678

世帯主以外の方が申請する場合はその理由及び世帯主との関係:

世帯主死亡のため(世帯主との関係:妻)

申請者が世帯主と異なる場合にはその理由と
世帯主との関係を記載してください。

I 被災時の世帯の状況について記入して下さい。

① 被災時の世帯主情報

ふりがな	やまだ たろう	性別	男
氏名	山田 太郎	日	女
世帯主個人番号	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9
	0	1	2

令和6年1月1日現在の世帯主の氏名を住民票のとおり
記載(被災後の死亡、改姓、世帯移動があった場合は注意)

※世帯主個人番号を記入した場合は、住民票添付省略可
かつ公金受取口座利用にチェックした場合は、預金通帳
の写し省略可

② 被災した住宅の住所(被災住所:集合住宅の場合は、)

〒935-0025
富山県氷見市鞍川1060番地

◎世帯主のマイナンバーを記入することで、世帯主及び世帯主と同一住所に
住民票がある方の住民票の添付を省略することができます。
◎2回目以降の申請時は、住民票の添付が不要のため、マイナンバーの記入も
不要です。

③ 被災時の世帯員情報(初回申請は必ず)

1	ふりがな	生年月日	ふりがな	生年月日
	大・昭 平・令	年 月 日		
2	ふりがな	生年月日		
	大・昭 平・令	年 月 日		
	ふりがな	生年月日		
		年 月 日		

公金受取口座を利用するに☑をした場合、
口座情報は記入不要です。

◎初回の場合は必ず記入してください。

令和6年1月1日に被災家屋に居住していた世帯員全員
(世帯主を除く)の氏名・生年月日を誤りがないように記入
してください。(被災後の死亡、改姓、世帯異動に注意)

◎2回目以降の申請は記入不要です。

にする世帯主以外の方をいいます。

II 被災時世帯主の支援金の振込先口座を記入して下さい。

□事前登録済の公金受取口座を利用する

普通預金のみ対象です。

通帳に記載されているとおりに記入してください。

金融機関名	支店名等	種別	口座番号
氷見銀行	丸の内支店	普通	0123456
ゆうちょ銀行	記号	番号	
口座名義(カナ)	ヤ	マ	タ
	ハ	ナ	コ

姓と名の間は1文字空けてください。
濁点は1文字として記入してください。

口座名義が世帯主と異なる場合(被災時同一世帯員に限る)はその理由を記入してください。(前回と同じ名義の場合は記入不要)

また、世帯主以外の同一世帯員が公金受取口座を利用する場合は口座名義人個人番号を記入してください。

理由 世帯主死亡のため

口座名義人個人番号 9 8 7

世帯主の死亡がわかる住民票や世帯主の委任状(やむを得ない理由)がある場
合は、被災時の同一世帯員に限り世帯主でなくても受取りが可能です。被災時
に別世帯員であった場合は、親族であっても受け取ることができません。

III 被災世帯の現在の住所等を記入して下さい。(集合)

現在の住所

□被災住所と同じ 〒935-0017
富山県氷見市本町4番9号

電話番号

090 (1234) 5678

郵便物が受け取れる場所、日中連絡がとれる電話番号を記入してください。
加算支援金の申請で再建先と支給通知書の受取先が異なる場合は、再建先住所を記入してください。(その場合の通知書送付先は裏面の備考欄に記載してください。)

IV (1) 申請する**基礎支援金**について該当する金額を○で囲み、
(初めて申請される方は必ず記入してください。2回目以降は、特
なお、中規模半壊で初めて申請される場合には、(2)に記入し

半壊解体または敷地被害解体で申請する場合は、災害によるやむを得ない解体理由を記入してください。

半壊解体または敷地被害解体の場合はその理由
住宅の倒壊による危険を防止するため

区 分	今回申請(A)		受給済(B)	
	複数世帯	単数世帯	複数世帯	単数世帯
全壊	100 万円	75 万円		
半壊解体	100 万円	75 万円		
敷地被害解体	100 万円	75 万円		
長期避難	100 万円	75 万円		
大規模半壊	50 万円	37.5 万円	50 万円	37.5 万円

申請額(A-B) : 50 万円

(2) 申請する**加算支援金**について該当する金額を○で囲

区 分	今回申請(C)		受給済(D)		
	複数世帯	単数世帯	複数世帯	単数世帯	
建設・購入	200 万円	150 万円			
補修	100 万円	75 万円			
賃借 ※公営住宅入居者除く	50 万円	37.5 万円	50 万円	37.5 万円	
中規模 半壊	建設・購入	100 万円	75 万円	100 万円	75 万円
	補修	50 万円	37.5 万円	50 万円	37.5 万円
	賃借 ※公営住宅入居者除く	25 万円	18.75 万円	25 万円	18.75 万円

申請額(C-D) : 200 万円

該当する申請区分(受給済みの支援金がある場合にはその区分)の金額に○を記入してください。

申請する金額(受給済みの支援金がある場合には差額)を記入してください。

注)それぞれの支援金について、複数の「区分」に該当する場合は、それらのうちの高い方の額が最終的な支給額になります。既に受給した支援金がある場合は受給済額との差額を「申請額」の欄に記入してください。

市区町村記入欄

添付書類確認欄

罹災証明書	住民票	預金通帳の写し	解体証明書	敷地被害証明書	長期避難世帯証明書	契約書の写し	その他

備考欄

その他添付書類・申し送り事項等

市区町村
個人番号本人確認欄

以下の場合のみ、申請者が市区町村欄に以下の内容を記入してください。
①7名以上の世帯で被災した場合 7名目以降の被災時同一世帯員の氏名・ふりがな・生年月日
②加算支援金の申請で再建先と至急通知書の送付先が異なる場合 通知書送付先住所(〇〇様方等記載)
・通知書の送付先が異なる理由(高齢により郵便物の管理が困難なため等)